

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月4日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 0170501928 | | |
| 法人名 | 株式会社 オストジャパン | | |
| 事業所名 | グループホーム いきいき | | |
| 所在地 | 札幌市白石区北郷9条3丁目3番1号 (電話) 011-875-8011 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月27日 | 評価確定日 | 平成21年1月16日 |

【情報提供票より】 (20年10月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-------------|--------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成15年 4月 1日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 26 人 | 常勤 26人 非常勤 0人 常勤換算 | 25.8人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|-------------|-----|-----|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート 造り | | |
| | 3階建ての | 1～3 | 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------------------|----------------|---------------------------------|
| 家賃(平均月額) | 39,000円 | その他の経費(月額) | 水光熱費20,000円 暖房費(11～3月)7,000円 |
| 敷金 | (有) (39,000 円) ・ 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有 (円) (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 400 円 |
| | 夕食 | 400 円 | おやつ 100 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要 (10 月 1 日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 27 名 | 男性 6 名 | 女性 21 名 |
| 要介護1 | 7 名 | 要介護2 | 7 名 |
| 要介護3 | 6 名 | 要介護4 | 6 名 |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 85.1 歳 | 最低 73 歳 | 最高 99 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------------------|
| 協力医療機関名 | 上野幌内科クリニック、札幌トロイカ病院、高橋歯科医院 |
|---------|----------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人母体が調剤薬局で、高齢者福祉への社会貢献目的で始めたグループホームであり、ケアハウスも隣接している。ホーム内は家庭的な雰囲気与生活感が感じられ、居心地良いスペースを多く配置している。管理者や職員は、利用者の心に寄り添う支援を目指しており、利用者本位の介護を心がけている。職員の研修体制も充実しており、利用者への介護に反映され、よりスキルアップに繋がっている。協力医による利用者の健康管理や気軽に相談できる仕組みは、利用者や家族、職員の安心にも繋がっている。利用者は、ゆったりとした暮らしのなかで、生き生きと互いに協力し合いながら生活されている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の課題である「地域密着型サービスとしての理念の検討」は、理念の見直しが行なわれ改善されている。「運営推進会議の内容、出席者の構成、記録の充実」は、現在も取組中である。</p> <p>今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は、カンファレンスで日常の介護を振り返りながら、職員全員で評価項目の点検に取り組み、計画作成担当者が纏め上げ作成している。改善項目は、職員で話し合い利用者のサービス向上に活かすよう取組んでいる。</p> |
| | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、18年8月から開催し、20年7月に6回目が開催されている。会議では、ホームの状況や外部評価の報告、防災訓練のご協力をお願い等をテーマとして、意見や質問、要望を伺い、運営に活かすよう取組んでいる。今後は更に、構成メンバーを広げ、ホームの取組みや改善経過のモニター役を担っていただきながら、広く深く意見や要望を伺い、サービスの向上に取り組むよう期待する。</p> |
| 重点項目② | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族へは、利用者の担当職員が毎月、お便りを作成し、ユニット新聞や管理者からのお便りとともに郵送されている。家族来訪時や電話対応時、運営推進会議などで家族から意見や要望を伺い、気軽に話してもらえるような雰囲気作りを心がけている。意見や要望は記録に記載し、ミーティングで改善点を検討し反映させている。重要事項説明書に第三者の苦情相談窓口を明記している。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、町内会行事のお祭りに利用者とともに参加している。敬老の日には、町内の保育園児にホームに来ていただき、歌や踊りを披露し、祝っていただいている。ホーム行事の夏祭りや文化祭に地域の方々やボランティアの方々に来ていただいたり、地域向けに広報誌を季刊発行して交流を深めている。</p> |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホームの理念は、開設当初の理念に「地域に根ざした安心した暮らし」を支援することを目的に加え、見直しがされている。さらに、管理者と職員で理念委員会を立ち上げ、具体的な実践内容の五訓を作りあげている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | ホームの理念は、職員採用時に説明し、日々のカンファレンスで意見交換や確認をしている。又、理念や五訓をユニット内や事務所に掲げ、毎朝のミーティングで読み上げ、常に意識できるようにしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し、町内会行事のお祭りに利用者とともに参加している。敬老の日には、町内の保育園児にホームに来ていただき、祝っていただいている。ホーム行事の夏祭りや文化祭に地域の方々に来ていただいたり、地域向けに広報誌を季刊発行して交流を深めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は、カンファレンスで日常の介護を振り返りながら、職員全員で評価項目の点検に取り組み、計画作成担当者が纏め上げ作成している。改善項目は、職員で話し合い、利用者へのサービス向上に活かすよう取り組んでいる。 | | |

札幌市白石区 グループホーム いきいき

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、18年8月から開催しているが、毎年2回の開催で、20年7月に6回目が開催された。会議では、ホームの状況や外部評価の報告、防災訓練の協力をお願い等に取り組み、意見、質問、要望を伺い、運営に活かすよう取り組んでいる。 | ○ | 運営推進会議の構成メンバーを広げ、ホームの取り組みや改善経過のモニター役を担っていただきながら、広く深く意見や要望を伺い、会議のテーマに反映させて開催回数を増やし、サービスの向上に取り組むよう期待したい。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 札幌市や白石区の管理者会議に出席し、意見交換している。札幌市の実践者研修の受け入れや講演依頼、ホーム見学などにも協力して、行政とともにサービス向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者の担当職員が、毎月、暮らしぶりや写真を掲載したお便りを作成し、請求書や領収書とともに郵送している。ユニットによっては、ホーム行事や認知症豆知識を掲載した新聞を発行したり、管理者からは、職員の異動やホーム行事の案内などをお便りで伝えている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族来訪時や電話対応時、運営推進会議などで家族から意見や要望を伺い、気軽に話していただけるような雰囲気作りを心がけている。意見や要望は記録し、ミーティングで改善点を検討し、反映させている。重要事項説明書に第三者の苦情相談窓口を明記している。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動は、運営法人内のグループホーム間や、ホーム内のユニット間で若干あるが、その場合は、利用者の状況に合わせて、説明している。日頃から、運営法人内の交流を盛んに行ない、利用者への影響に配慮している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部研修は、勉強委員会が中心となり、職員からテーマに関するアンケートを行ない、希望のテーマで勉強会を開いている。又、往診医による認知症についての勉強会や症例検討を行なっている。外部研修は、職員全員を対象に研修内容に応じて、積極的に受講できる機会を作り、職員のスキルアップに努めている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 区内のケア連絡会による、職員間での交換研修や、管理者や計画作成者間での人材育成に関する合同研修に参加している。運営法人内でも合同で研修会を開き、サービスの質の向上を目指している。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホーム見学や一日体験をしていただき、雰囲気を感じていただけるよう配慮している。その上で、意見や感想を聞き、利用者や家族と相談しながら、入居に至るようにしている。居宅の場合はヘルパーやケアマネジャーが同行し、場合によっては、自宅訪問もしている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者は、家事などの自分の出来ることに積極的に参加し、利用者同士和気あいあいと協力し合いながら、楽しんで生活している。職員も利用者に暮らしの知恵を教えていただき、互いに支え合える関係を築いている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居前までの暮らし方は、センター方式のアセスメント用紙に記載している。利用者の現在の思いや意向を引き出し、情報をアセスメント用紙に蓄積している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者の思いや意向を最優先にした前向きな目標を掲げるように、家族や職員、関係者と意見交換しながら、担当職員が計画作成担当者とともに作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 見直し期間に、利用者の担当職員が130項目からなる身体、心理、社会、環境、人間関係に関するアセスメントチェックを行ない、利用者の現在の全体像を把握してから、カンファレンスで関係者と意見交換し評価している。毎日のカンファレンスで、計画のズレや著しい変化が生じた場合は、状況に合わせて対応している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者の希望により、職員との個別対応の時間を設けて、買物やドライブなどの外出支援をして、楽しんでいただいている。又、通院時は家族の要望に応じて、ホーム車両での送迎支援をしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームの協力医による往診で健康チェックが毎週行なわれ、利用者の健康管理の支援をしている。入居前からのかかりつけ医や他科受診の通院支援も、家族や利用者の要望により行なっている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化に伴う意志確認書を作成し、入居時に利用者や家族にホームで出来ること、出来ないことを説明し、同意の上で入居に至っている。協力医と家族との面談会を年1～2回設けて現状の説明をしており、重度化した場合は、その都度話し合いを重ね、方針を共有し支援につなげている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 管理者や職員は、利用者のプライバシーを大切にしており、利用者の呼び方を確認したり、さりげない介助の工夫をしたり、常に利用者を敬う気持ちで、接することを心がけている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の生活のリズムを大切にして支援している。常に利用者を中心に考えており、出来る限り希望に沿った支援を行なっている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員と利用者で買い出しに行き、献立作成や食材選びから調理の下ごしらえ、盛り付け、配膳、片付け、食器拭きなどの一連の作業を利用者と職員がともに行なっている。食事中は、職員と利用者がテーブルを囲み、和やかに会話を楽しみながら食事をしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は、毎日数人ずつ、朝8時頃から夜6時頃までの時間帯で、見守りや介助などの入浴支援をしている。希望により、毎日入浴される方、朝入浴される方の支援をしている。入浴を拒む利用者もいるが、隣のケアハウスの大浴場や銭湯に行ったり、工夫をしている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者は、率先して家事や仕事を楽しみながら行なっている。お天気表への書き込み、日めぐり、ごみ捨てなどの役割を毎日行なっている利用者もいる。趣味の刺繍や花壇、畑での野菜作り、ドライブなどの気晴らしを支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者の希望により、散歩や買物、ドライブは常時行なっている。また、年1回、利用者全員、家族、職員で一泊温泉旅行を実施しており、好評をいただいている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 防犯の為、夜間のみ玄関とユニット入り口を施錠している。日中は、開錠して鈴を付けており、利用者が外出しそうな様子を察知したら見守りをして、安全面に配慮したさりげない支援をしている。 | | |

札幌市白石区 グループホーム いきいき

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練は、年2回実施しており、日中を想定して、ほとんどの利用者（独歩の方、車椅子使用の方）の避難方法の訓練をしている。又、非常袋の準備もしている。しかし夜間想定での訓練や地域の協力体制が、まだ十分整備がされていない。 | ○ | 運営推進会議で、地域住民の協力体制での避難訓練の実施をお願いしており、次回は、協力体制での実施予定となっているので期待したい。又、夜間を想定しての取り組みにも期待したい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立内容は、一日30品目以上の食品摂取を心がけ、年1回栄養士によるカロリーバランスのチェックを受けている。利用者の食事摂取量や必要に応じて水分摂取量をチェックし、不足と思われるような場合は、利用者の好みの物を補食していただくよう支援している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関、廊下、居間などの共用空間は、植木鉢や金魚の水槽、家庭的な家具や小物などの工夫により、生活感がとても感じられる雰囲気になっている。又、共用空間の至る所に居心地よいスペースが何箇所もあり、利用者は食後などに思い思いの場所で寛いでいる。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は、窓が広く明るい。床は、フローリングで希望によりカーペットを敷いている居室もある。利用者の使い慣れたタンスや机、椅子などの生活用品を持ち込んで、居心地の良い部屋作りをしている。 | | |

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。